



支笏湖ビジターセンター便り

アジサイ (園芸種)

2018年(平成30年)8月号 Vol. 104

見頃

ビジターセンターから歩いて15分



休暇村広場の隅にある園芸種のアジサイが8月に入り見頃を迎えました。この紙面裏側に掲載の「アクティブレジャー日記」の写真は野生のエゾアジサイ。園芸種のアジサイは野生のガクアジサイを品種改良したものです。たくさん花びら(装飾花)で丸く形づくられたアジサイはやはり美しく見ごたえがあります。

このアジサイ達の中に野生のエゾアジサイが数株入り込んでいるのに気付いた方はいらっしゃいますか。花期は終わり実がついていますが清楚な佇まいで並んでいます。

いいもの見つけ



これなくんだ?
森のピーマン!?

ビジターセンターから歩いて10分

湖と千歳川にかけられている橋「山線鉄橋」から千歳川沿いに続く「タヌキ通り」。この通りを歩くと人の背の高さほどに伸びた緑の植物を見つけることが出来るでしょう。これはオオウバユリ(ユリ科)の実です。一つ一つがまるでピーマンのようです。この実一つの中に種が500個ほど入っているようです。秋までに乾燥して表皮が裂け、風の力で種が散布されます。

ビジターにおいでよ! ~展示物の紹介~



今回は「ヘビの抜け殻」の紹介です。

ビジターセンターで飼育しているアオダイショウが8月5日に脱皮したもので、頭からしっぽまできれいに一繋ぎで抜けました。長さを測ったところ95cmありました。

ところでヘビはどうして脱皮をするのかご存知ですか?

「身体を大きくするため」…実はこれはハズレです。カニや昆虫など外側が硬い骨格でできている生き物の場合は「大きくなるため」で正解ですが、ヘビは身体の内側の組織、つまり骨と肉がだんだんと成長して大きくなります。脱皮をするのはウロコを更新してきれいな状態に保つため。人間でいえば垢が落ちると一緒なんです。

そんなヘビの抜け殻ですが、金運がアップするというウワサも。ぜひやさしく触ってご利益を授かってください。もちろん本物のヘビに挨拶も忘れずに。



ビジターセンターのカウンター横では、デンデンムシのサッポロマイマイとエゾマイマイ、ひょうきんな顔をしている魚・アマチチブ、尻尾が青い色をしたヒガシニホントカゲの子ども(幼体)、今年生まれのエゾサンショウウオの子ども(幼体)など、身近な生き物の生態展示を行っています。可愛い生き物を見に来てください!



時々行う「ヘビタッチタイム」はアット言う間に人だかり。ヘビにタッチしたい人、結構いるんです。

支笏湖温泉 の気象

支笏湖畔の気温
・降水量・日照時間
～気象庁アメダスによる
平年値と今年の観測～

気温(°C)

	平年値	今年
7月上旬	16.1	16.3
中旬	17.4	19.1
下旬	18.9	21
8月上旬	20	19.5

日照時間(h)

	平年値	今年
7月上旬	36.6	3
中旬	34.9	42.8
下旬	42.5	64.1
8月上旬	43.4	46.2

降水量(mm)

	平年値	今年
7月上旬	50.7	172
中旬	67.5	14.5
下旬	52.7	11.5
8月上旬	64.3	29.5

7月の気温は6月に引き続き高めに推移し、月平均気温18.8度は平年値より1.3度高く、同月としては観測開始以来9番目の高さでした。8月に入って1日に、日最高気温29.9度を観測しましたが、天候が安定しないこともあって中旬の平均気温は19.5度と、平年値より0.5度低くなりました。ちなみに、日最高気温が30.0度を超える真夏日になったのは2011年8月14日の30.0度が最後です。

アクティブレンジャー 日記



淡いブルー色のエゾアジサイ

8月初旬、夏真っ盛りの支笏湖で「夏の自然観察会」を開催しました♪咲いているお花が少なくなる時期ですが、淡い青色のエゾアジサイや、甘い香りを放つシナノキの花等が開花していました。また、赤い実が特徴的なエゾニワトコや人の拳の形に似ているキタコブシの実を観察することが出来ました。お盆を過ぎると寒くなる北海道ですが、参加者の皆さんと短い夏を満喫した一日となりました。

環境省 支笏洞爺国立公園管理事務所
アクティブレンジャー (自然保護官補佐)
當山 真貴子



千歳川沿いも葉っぱの枯れた木があちこちに



園地の一部が
落ち葉だらけ



ハンノキハムシ
の幼虫

支笏湖温泉園地の芝生の上に大量に落ちてくる枯れ葉に気付いた方もいると思います。ケヤマハンノキ(カバノキ科)の葉っぱです。この様子を見てあるお客さまは、「ここだけ秋が来ているみたい」と言っていました。葉っぱが枯れたのは秋の紅葉のせいではなく、虫のせいです。ハンノキハムシという虫の幼虫が「せっせせっせ」と葉っぱを食べたからです。木にとつて葉っぱは栄養を作るための大事な器官。食べられて光合成が出来なくなってしまうので葉っぱを落としてしまったということでしょう。では、ケヤマハンノキは栄養不足で枯れてしまうのでしょうか？

いいえ、枯れません。ケヤマハンノキは荒地にも根ざすことが出来る「パイオニア(開拓者)植物」。夏の終わりには木のトップに新しい葉っぱをつける程のたくましい植物です。

ここだけ秋？



葉がかじられてレースのようになった

ビジターセンター多目的展示

『蝦夷リスと蓮 写真展』 開催中 8月27日まで！

生き生きとしたエゾリスの姿。鮮やかな色を放つハスの花。どちらの写真からも生命のみなぎりを感ずることが出来ます。強くて美しく可愛らしいエゾリスと蓮の様子を見に来てください。

支笏湖ビジターセンター運営協議会発行
〒066・0281 北海道千歳市支笏湖温泉番外地
TEL 0123・25・2404
HPアドレス <http://shikotsukovc.sakura.ne.jp>

【開館時間】 ※入館無料
4月から11月 午前9時から午後5時30分まで
12月から3月 午前9時30分から午後4時30分まで
(火曜日休館)
年末年始休館日 12月29日から1月3日まで

8月の自然ふれあい行事は満員になりました 9月 自然ふれあい行事 「紋別岳を登ろう」大募集中！！

9月1日(土)・30日(日)
※30日の予約受付は8/30からです
時間9:45~15:00 定員各回10名 参加費無料

支笏湖のパノラマを楽しみながら標高866mの紋別岳を登ります